

知的財産戦略の方向性

(知的財産による競争力強化・国際標準化関連)

平成23年1月27日

内閣官房知的財産戦略推進事務局

知的財産戦略の方向性 【情勢認識】

- 経済のグローバル化が進展する中、産業競争力の源泉として、知的財産戦略の重要性が増している。
- 国際競争を勝ち抜くためには、特許、商標、意匠、国際標準等の戦略的な獲得と活用、ノウハウの秘匿化などを含めた総合的な知的財産マネジメントが不可欠である。
- 企業は、知財戦略上、各国の「知財システム」から自社に有利なものを選択する時代に突入している。この流れを受け、各国においても、「知財システム」間の国際競争を激化させている。例えば、韓国はIP-Hub構想を打ち立て、国際的知的財産秩序の形成を主導しようという動きをみせ、中国は、国家戦略に基づいて外国への出願を積極的に助成する一方で、アフリカを中心に国際調査の受入れ対象国を広げている。
- 大学等の優れた研究成果からグローバルなビジネスの成功が生まれなければならないが、我が国では、未だ米国のグーグルのようなグローバルな成功事例は少ない。
- 優れた技術を有する我が国の中小企業も、グローバル化の進展により、自立が迫られており、自らの技術を知財で守り海外展開していくことが必要である。
- 知財戦略を支える人材に目を向ければ、激しい国際競争の中で求められる知財マネジメント人材を各分野で育成することが急務である。
- 我が国においては、このグローバル化の波を、むしろ変革のチャンスととらえ、グローバルなイノベーション競争を勝ち抜くための「知財システム」構築に向け、知的財産戦略の策定を図らなければならない。

知的財産戦略の方向性【概要】

知的財産を活用した
産業競争力強化の実現

【情勢認識】

- 経済のグローバル化が進展する中、産業競争力の源泉として、知的財産戦略の重要性が増している。
- 国際競争を勝ち抜くためには、特許、商標、意匠、国際標準の戦略的な獲得と活用、戦略的なノウハウ秘匿化などを含めた、総合的な知財マネジメントが不可欠である。
- 企業は、知財戦略上、各国の「知財システム」から自社に有利なものを選択する時代に突入している。この流れを受け、各国においても、「知財システム」間の国際競争を激化させている。例えば、韓国はIP-Hub構想を打ち立て、国際的知的財産秩序の形成を主導しようという動きをみせ、中国は、国家戦略に基づいて外国への出願を積極的に助成する一方で、アフリカを中心に国際調査の受入れ対象国を広げている。

グローバルな知的財産戦略

- 企業は、各国の「知財システム」から自社に有利なものを戦略的に活用する時代に突入しており、韓国のIP-Hub構想にみられるように、各国の制度間競争が始まっている。

【目標1】

我が国の「知財システム」の魅力を高め、アジア・世界で一層準拠・活用される環境を整備し、世界知財システムの構築を我が国がリードする。

イノベーション促進のための知的財産戦略

- 産学連携環境の整備開始から10年余りが経ち、大学発ベンチャーや産学連携による事業化の取組が行われてきたが、我が国では、未だGoogle（米国）のようなグローバルな成功事例は少ない。

【目標2】

我が国の大学等により生み出される「知」やベンチャーの創意を新たなビジネスにつなげ、グローバルな成功事例を創出する。

- グローバル化の進展により、我が国の中小企業等は自立を迫られており、自らの知的財産戦略をもって海外展開する必要性が高まっている。

【目標3】

我が国の中小企業等の優れた技術から、知的財産を活用して、世界に通用する事業を生み出す。

知的財産戦略を支える人材育成

- 激しい国際競争の中で求められる、総合的な知財マネジメントを行うことのできる人材を各分野で育成することが急務である。

【目標4】

知的財産を戦略的に活用できる知財マネジメント人材を育成して、我が国における知的財産戦略策定の基盤を強化する。

グローバルな知的財産戦略

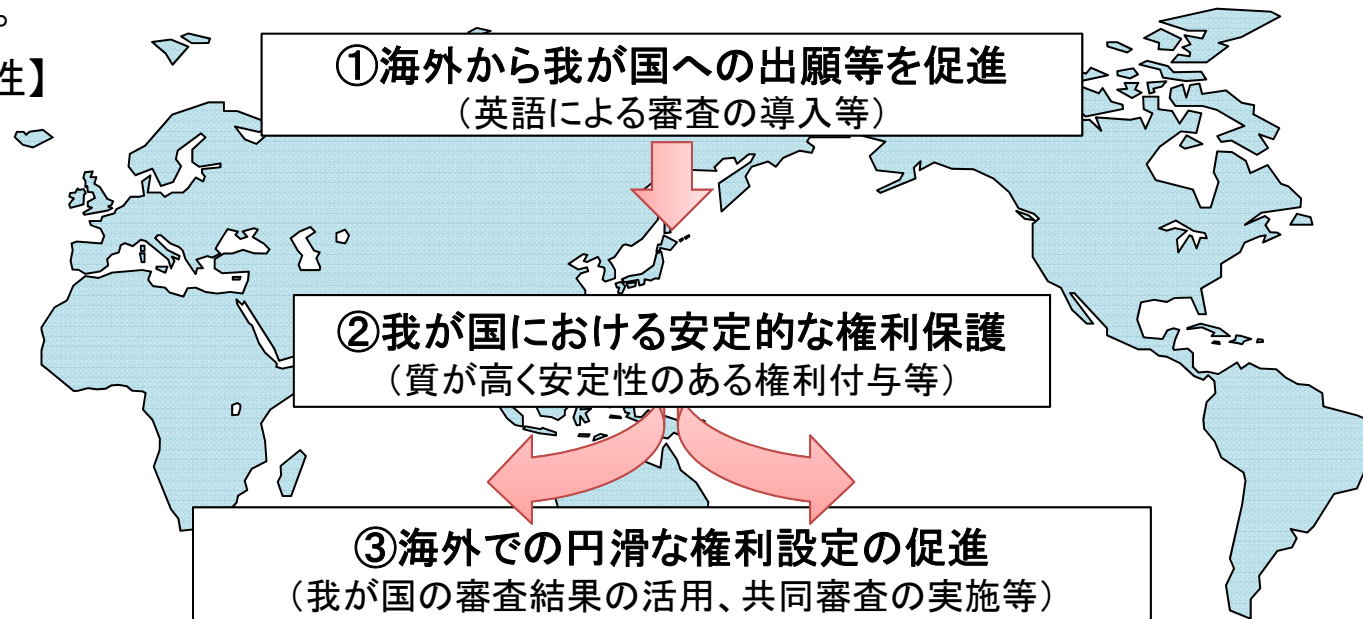
【目標 1】

我が国の「知財システム」の魅力を高め、アジア・世界で一層準拠・活用される環境を整備し、世界知財システムの構築を我が国がリードする。

【情勢認識】

- 経済のグローバル化が進む中、技術やブランド等を、低コストかつ効率的に、グローバルに保護することが求められている。
- 各国の「知財システム」から、企業が自社に有利なものを戦略的に活用する時代に突入しており、「知財システム」間の国際競争が激化している。例えば、韓国はIP-Hub構想を打ち立て、国際的知的財産秩序の形成を主導しようという動きをみせ、中国は、国家戦略に基づいて外国への出願を積極的に助成する一方で、アフリカを中心に国際調査の対象を広げている。こうした動きを受け、我が国としても、我が国の制度・運用が準拠されることも含め、制度・運用に係る国際競争力を強化する必要がある。
- アジア・世界で活躍する企業のニーズに応え、世界知財システムの構築を我が国がリードすべきではないか。

【課題と方向性】



イノベーション促進のための知的財産戦略(1)

【目標 2】

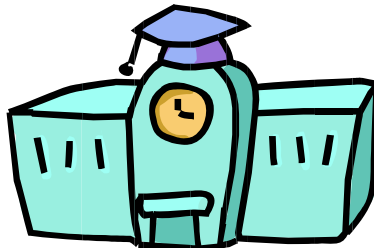
我が国の大学等により生み出される「知」やベンチャーの創意を新たなビジネスにつなげ、グローバルな成功事例を創出する。

【情勢認識】

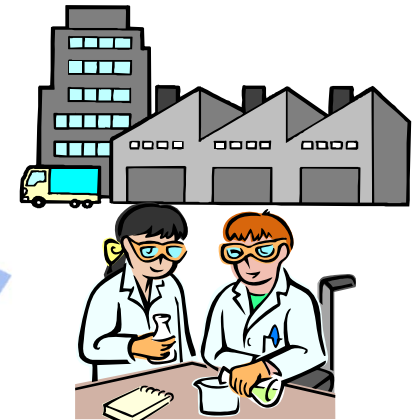
- 産学連携環境の整備開始から10年余りが経ち、大学発ベンチャーや産学連携による事業化の取組が行われてきたが、グーグル(米国)のようなグローバルな成功事例は少ない。
- 我が国では、米国のような革新的技術を創出するためのベンチャー育成の仕組みが十分に整備されていない。

【課題と方向性】

① 産業界のニーズを取り込んだ研究活動、大学の技術を事業の成功につなげるマーケティング力の強化
(産学連携機能の再編・強化等)



② 革新的技術の事業化にチャレンジするベンチャーを育て上げる仕組みの構築
(日本版SBIR制度の抜本的改革によるリスクマネーとのマッチングの強化等)



イノベーション促進のための知的財産戦略(2)

【目標 3】

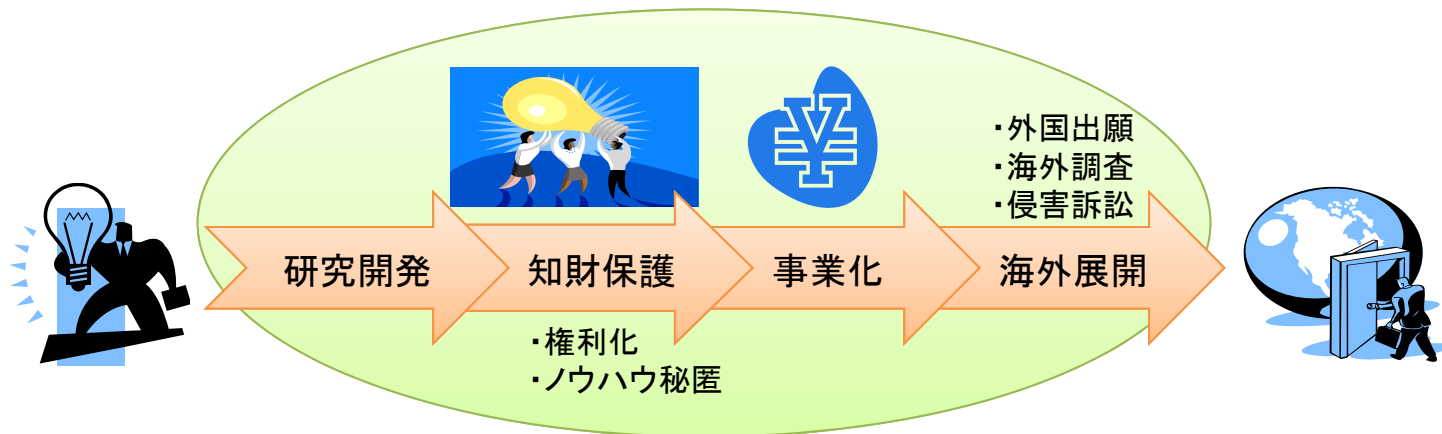
我が国の中小企業等の優れた技術から、知的財産を活用して、世界に通用する事業を生み出す。

【情勢認識】

- グローバル化の進展により、中小企業等は自立を迫られており、自らの知的財産戦略をもって、優れた技術を知的財産で守り海外展開していく必要性が高まっている。
- 技術を有する中小企業等に対して、研究開発から知財保護、事業化、海外展開まで一貫した支援体制と、それを実現する人材の確保が求められている。

【課題と方向性】

①知的財産戦略のコンサルティング機能強化、費用支援の拡充



②ワンストップ相談窓口の整備と知財マネジメント人材の配置

知的財産戦略を支える人材育成

【目標 4】

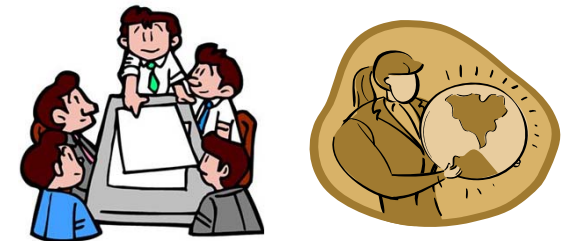
知的財産を戦略的に活用できる知財マネジメント人材を育成して、我が国における知的財産戦略策定の基盤を強化する。

【情勢認識】

- 我が国の知財人材は量的に拡大し充足しつつあるが、育成された人材は、必ずしも激しい国際競争で求められている人材像とは合致しておらず、企業・大学・政府等で真に求められる人材の育成が急務である。
- 知的財産を戦略的に活用することの重要性が高まる中、知的財産を将来創造することが期待される人材に向けて、創意工夫や知的財産の尊重の意識等を高め、国民の知的財産に関する基本的な理解を深める必要がある。

【課題・方向性】

①国際標準や知的財産を競争力強化のために戦略的に活用できる知財マネジメント人材の育成、大学等における教育の充実や教員の育成(知財人材育成アクションプランの検討等)



②小中高生に対する知財教育の継続・強化

